



学校通信

令和5年度 第5号
令和5年 9月 1日
練馬区立開進第三小学校
校長 岡部 良美

プライドと自信がブランドに

校長 岡部 良美

私たちは、今日に生き、明日に向かって生きています。常に前に向かって歩んでいます。この歩みが確かな歩みとなるように、常に先を見て生きています。その生き方で今というこの時を一生懸命生きていることが**プライド**です。一生懸命生きることに**プライド**をもつのです。そしてこのパイルアップ（積み重ね）によって、人間は**自信**をもっていくものです。

◎子供たちが**プライド**をもち、**自信**をもった人間になっていった時、◎保護者・家庭が**プライド**をもち、**自信**をもって子育てをしている時、◎地域が**プライド**をもち、**自信**をもった地域住民になろうとしている時、◎学校が**プライド**と**自信**をもって指導にあたっている時、そうした時に**ブランド**が生まれるものと私は信じています。

今、日本中が**プライド**と**自信**を失いかけているのではないのでしょうか。人としての心をもち、真摯な態度で事に当たれば、必ず光り輝く人間になっていくものです。

7月に開三小の子供たちに、アンケートを通して自分を振り返り、価値付ける機会を設けました。その結果をいくつか紹介します。（肯定的評価の割合）

【設問1】自分のよいところが分かっている (84%)

【設問2】友達のよいところを見付けられる (87%)

【設問3】話し合いの中で、自分の考えを発表している (78%)

【設問4】授業の『振り返りの時間』に学習して思ったことが書けている (84%)

【設問5】生活科や総合的な学習の時間を通して、

地域のためにしてみたいことができた (74%)

【設問6】学校生活が楽しい (87%)



開三小では6年間、『よいところみつけ名人になろう』を子供も大人も取り組む目標（ループリック）として、学校教育をすすめています。子供の姿や年2回のアンケート結果の変遷からも、子供一人ひとりが**プライド**と**自信**をもち、成長・活躍していくことが明らかです。

私たち人間は、誰もが潜在的にすばらしい資質と能力をもっています。ぜひ、未来を創り・担う子供たちが**プライド**をもち、**自信**をもった時、自他ともに認められる**ブランド**の子供たちになると信じています。

先日、地域の町会長さんが来校され、2023年の広島「原爆の日」のこども代表による平和への誓いのメッセージから、開三小の取組を価値付けてくださいました。＜メッセージの一節＞「今、私たちは生きています。私たちにもできることがあります。自分の思いを伝える前に、相手の気持ちを考えること。友達のよいところを見つけること。みんなの笑顔のために自分の力を使うこと。」『よいところみつけ名人』、『地域の創り手となる活動』を子供たちと共に、**プライド**と**自信**をもって進めていきます。